

2011年2月22日

各位

王子製紙株式会社
王子ネピア株式会社

王子ネピア創立40周年事業ならびに今後の事業展開について

王子ネピア株式会社（本社：東京都中央区銀座、代表取締役社長：佐田修一）は、おかげさまで、本年、創立40周年を迎えることとなりました。

当社の企業理念である、人々の生活の「こちよさ」「清潔さ」「すこやかさ」に価値ある商品を開発・提供し、人々の生活に貢献する「日常生活サポート企業」であり続けることを目指すと同時に、王子製紙グループの中核企業としてさらなる発展をするため、次の事業計画を策定いたしました。

<計画>

1. 家庭紙事業では、今春、お客様に「やわらかさと肌ざわり」をアップした新商品をお届けいたします。
2. 紙おむつ事業は、子供用紙おむつ、大人用紙おむつの加工機を増設し、既存設備のリニューアル工事と併せて、品質向上と生産強化を進めます。
3. 成長する海外での販売を強化いたします。

<内容>

1. 新商品の市場導入

トイレットロールは、やわらかさと肌触りを重視するお客様にお応えするため、エンボスを一新。新たに高密度ソフトエンボスを採用いたしました。新エンボスは、従来品の2.5倍以上のエンボス数を持ち、やわらかさとふんわり感がさらにアップ。吸水性にも優れ、温水洗浄後の拭き取りにも最適です。

また、香りと色を好むお客様に対しては、「桜の香り・桜色」もラインナップし、様々なニーズにお応えいたします。

さらに、従来から省資源、エコ商品として好評をいただいているネピアコンパクトロールも新エンボスを採用し、リニューアル。8ロールに12ロール分の長さ（1.5倍巻き）が入った本商品は、持ち運びがラク、収納に便利、ゴミの減量と、特に都市生活にマッチした商品として好評を得ております。

またトイレットロールの外装袋は、サトウキビ由来のバイオマスフィルムを採用し（6月出荷予定分から）、環境に配慮した商品づくりを引き続き心がけてまいります。

ティッシュは、さらなるやわらかさを求めるお客様のご要望にお応えできるよう、ネピアデラックスティッシュを新発売。ふんわりやわらかな肌ざわりにこだわりました。また組数は、発売以来の400枚（200組）で、競合他社品よりも20組多い容量です。

2. 紙おむつ事業の設備投資

子供用紙おむつは、市場全体では縮小傾向にありますが、パンツ型紙おむつの需要は今後も上昇が見込まれております。そこで当社は、パンツ型紙おむつの生産設備を新たに導入し、高まる需要に対応した生産体制といたします。また、新商品開発体制の充実を図り、お客様本位の商品開発を実現いたします。

新加工機の設置場所は、当社名古屋工場内（愛知県春日井市）を予定しております。併せて、既存の子供用紙おむつ加工機も改造いたします。完成予定は2011年10月。投資額は、既存加工機の改造も含めて17億円です。

また大人用紙おむつは、扱いやすく止めやすい、何度でも重ねて貼れると好評を得ている「幅広テープ」の拡販を目指します。

要介護者の人口増加に伴い、テープ型紙おむつの需要は、今後も上昇が見込まれます。当社も販売を順調に伸ばしており、高まる需要にお応えするため、大人用紙おむつテープ型の加工機を設置いたします。設置場所は、福島県福島市。完成予定は2012年5月、投資額は10億円です。

3. 海外事業戦略強化

東南アジアにおける子供用紙おむつは、需要拡大に伴う有望な市場であるため、早期の販路拡大を目指します。また、現地での生産も検討してまいります。

最後に、当社は、王子製紙グループでの中核企業として、今後もより積極的な投資を行う予定としており、次期開発、品質向上投資、海外投資（M&A含む）の総投資額は、2012年度までに50～100億円を計画しております。

以上